

# 令和2年第1回市議会定例会代表質問通告一覧表

## 1 質問通告者

- |               |         |
|---------------|---------|
| (1) 新緑水クラブ    | (田中雅章)  |
| (2) 市友会       | (川崎 一)  |
| (3) 公明党       | (石丸喜久雄) |
| (4) 子どもたちに青い空 | (村瀬晃代)  |
| (5) 日本共産党議員団  | (坂 ゆかり) |

## 2 質問事項、要旨及び項目

質 問 者	1 田 中 雅 章 議 員 (新緑水クラブ)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 市政運営の基本姿勢について	1 次の50年先を展望したまちづくりの新たなスタートの一年として位置づけた市制施行50周年が経過する中、今後のまちづくりの方向性等について問う	(1) 少子・高齢化や経済・産業の構造、市民の価値観の変化が本市のまちづくりに与える影響をどのように考えているか (2) SDGsの理念を踏まえた取組をどのように推進する考えか (3) 今後のまちづくりの方向性をどのように考えているか	
	2 地方法人課税の税率改正による市税収入額への影響及び今後の起債残高の見込額等について問う	(1) 地方法人課税が税率改正されたことによる市税収入額への影響はどのようなものであるか (2) 令和2年度当初予算における市税収入額は、令和元年度と比較して増加しているが、主な増加理由はどのようなものであるか。また、将来的な見込みはどのようなものであるか (3) 今後の起債残高の見込額はどのようなものであるか	
2 リニアインパクトの活用について	1 リニア中央新幹線の開業を踏まえた本市の取組及び新たに計画が進められている太田川駅西地区を始めとする土地区画整理事業や都市計画道路養父森岡線及び新駅周辺等整備事業の基本的な考え方等について問う	(1) リニア中央新幹線の開業を踏まえ、どのような取組を考えているか (2) 計画が進められている太田川駅西地区を始めとする土地区画整理事業について、基本的な考え方や事業スケジュール、課題及び期待される効果はどのようなものであるか (3) 養父森岡線と名鉄河和線との立体交差事業及び新駅整備の基本的な考え方や事業スケジュール、課題及び期待される効果はどのようなものであるか	
3 産業振興とにぎわいづくりの推進について	1 新たな観光資源化に向けて実施している観光クルーズ船の社会実験の取組等について問う	(1) 令和元年度の実施結果及び参加者の評価はどのようなものであるか (2) 観光クルーズツアーの実施面及び民間主導のツアーとしていくための課題はどのようなものであるか (3) 観光資源化に向けて、乗船場の整備が必要と考えるが、整備に関する課題及び今後の方向性はどのようなものであるか	

	2 農業センター本館施設のリニューアルに向けた基本的な考え方及びトマトの栽培温室の整備等について問う	(1) 農業センターが果たしてきた役割をどのように分析しているか (2) 整備予定のトマトの栽培温室における収穫予定量及び活用方法をどのように考えているか (3) 農業センター本館施設のリニューアルを検討するにあたっての基本的な考え方及び事業スケジュールはどのようなものであるか	
4 子どもが夢と希望を育む環境づくりについて	1 文化センターの今後のあり方について問う	(1) 文化センターの今後のあり方をどのように考えているか (2) 建築家の隈研吾氏による講演会を開催する目的はどのようなものであるか (3) 文化センターを始めとする市内公共施設の改築等の際、隈研吾氏のような著名な建築家にデザイン等を依頼し、本市のシンボルとなり得る施設整備を目指す考えはあるか	
5 安心・安全なまちづくりについて	1 犯罪の抑止に効果が期待される防犯カメラを市域全体に設置するにあたっての課題及び設置場所の選定基準等について問う	(1) 令和元年度に設置した地域における具体的な効果はどのようなであったか (2) 設置に向けた課題及び設置場所の選定基準はどのようなものであるか (3) 運用における将来的なランニングコストをどのように見込んでいるか	

質 問 者	2 川 崎 一 議 員 (市友会)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 産業振興とにぎわいづくりの推進について	1 令和元年度に初めて開催されたハーフマラソン大会の今後のあり方について問う	(1) 申込者数及び参加者数はどのようであったか (2) 参加者からの意見及び令和2年度の実施に向けた課題はどのようであるか。また、市として、課題への対応策を現時点でどのように考えているか (3) 市内ホテル事業者と連携した取組について、具体的にどのように考えているか	
2 子どもが夢と希望を育む環境づくりについて	1 プログラミング教育の小学校での必修化及びICT環境の充実に向けた取組について問う	(1) 本市におけるプログラミング教育の内容はどのようであるか (2) 産業が盛んな本市の特性を生かしたプログラミング教育を今後、導入する考えはあるか (3) ICT支援員の具体的な役割はどのようであるか (4) 校内ネットワークを全小中学校に整備するが、今後どのようなICT環境を整備していくのか	
	2 児童・生徒の不登校対策のあり方について問う	(1) ほっと東海に通う児童・生徒数の過去3年間の推移はどのようであるか (2) 複雑化・多様化する不登校への対策として配置されるスクールソーシャルワーカーの役割はどのようであるか。また、スクールカウンセラーとの違いはどのようであるか (3) 不登校を防止するためには、家庭環境の改善が必要となる場合が想定されるが、本市としてどのように取組む考えであるか	
3 子育てしやすい環境の充実について	1 京都大学と連携して実証実験を行っている小中学校の健康診断結果のデータ化について、今後の活用方法等について問う	(1) 乳幼児の健診情報と一元化するにあたっての事業スケジュール及び保護者による活用方法はどのようであるか (2) 将来的にマイナンバーカードと連携したデータ管理・情報提供を行う考えはあるか	

	2 保育環境の更なる充実に向けた取組について問う	(1) 待機児童数の過去3年間の推移はどのようなものであるか (2) 多様化する保育ニーズに対応するため、民間事業者の力を活用していくにあたり、公共が担う役割の基本的な考え方はどのようなものであるか (3) 移転予定の大田保育園の建設において、保育環境の充実に向け、新たに検討していることはあるか	
4 高齢者の健康・いきがづくりについて	1 更なる健康寿命の延伸に向けた取組について問う	(1) 本市の健康寿命及び医療費の推移はどのようなものであるか (2) 特定健康診査について、貧血や心電図の検査項目を全ての方を対象に実施する目的及び期待される効果はどのようなものであるか (3) 後期高齢者に対して、保健師が早期の保健指導を行うための具体的な方策はどのようなものであるか (4) 若年層に対する健康診査等の機会の提供と合わせて、若年期からの認知症予防事業を実施する考えはあるか	
5 安心・安全なまちづくりについて	1 市民が安心・安全に生活するためには、災害に強いまちづくりと減災対策を進める必要があると考えるが、自然災害に対する防災・減災対策の今後の基本的な考え方等について問う	(1) 小学6年生の児童代表を釜石市へ派遣するにあたって、実地体験の活用方法及び他の児童への情報共有方法をどのように考えているか (2) 災害時に避難所となる体育館の環境改善を目的としてエアコンの整備が予定されているが、平時にも運用できる方法を検討する考えはあるか (3) 自然災害に対する防災・減災の対策状況及び今後の基本的な考え方はどのようなものであるか	

質 問 者	3 石 丸 喜久雄 議 員 (公明党)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 市政運営の基本姿勢と経営方針について	1 市制50周年記念事業の評価及び次の50年に向けて、将来を見据えたまちづくりの基本姿勢とSDGsへの取組について問う	(1) 市制50周年の記念式典やオープニングイベントを皮切りに1年間を通して様々な記念事業を実施してきたが、その事業効果をどのように評価しているか (2) 次の50年に向けて、次の世代につないでいく「将来を見据えたまちづくりの基礎」とは何か (3) 2030年までの達成を目標とする国際社会の指標であるSDGsについて、政府は、地方自治体や民間企業等多様な担い手が連携して課題に取り組むことが必須であるとしているが、本市はどのように取り組んでいく考えか	
	2 日本製鉄(株)名古屋製鉄所の合理化策による影響及び今後の財政状況の見込みについて問う	(1) 日本製鉄(株)名古屋製鉄所において予定されている合理化策が実施されると、本市にどのような影響が生じると考えられるか (2) 2020年度及びその後の本市の財政状況の見込みはどのようなものであるか	
2 リニアインパクトによるまちづくりについて	1 2027年のリニア中央新幹線の東京と名古屋間が開業するビッグチャンスを本市の発展に最大限に活かすには、名鉄空港特急「ミュースカイ」が太田川駅にも停車することが必要と考えることから、その可能性について問う	(1) 2027年のリニア中央新幹線の東京と名古屋間の開業時に、名鉄空港特急「ミュースカイ」が太田川駅に停車するようになる可能性について、どのように考えているか	

<p>3 産業振興とにぎわいづくりの推進について</p>	<p>1 リニア中央新幹線の開業等、社会・経済環境の変化により、観光客の来訪と経済効果が期待される中、本市の観光施策とにぎわいづくりの取組について問う</p>	<p>(1) 桜まつりや花火大会等をふるさと大使の芦木氏と連携してさらにブラッシュアップするとのことだが、名鉄電車から見える本市のシンボルである「聚楽園の大仏」にも、光や音の要素を加え、魅力ある観光資源へと進化させる考えはあるか</p> <p>(2) 太田川駅周辺において、駅前広場を活用したイベントや、駅周辺の飲食店と連携したイベントを開催するとのことだが、その内容はどのようなものか</p> <p>(3) 太田川駅周辺のにぎわいの創出と交流拡大の波及効果を市内全域に行き渡らせる方策が必要と考えるが、どのように認識し、取り組んでいく考えか</p>	
<p>4 子どもが夢と希望を育む環境づくりについて</p>	<p>1 子どもたちのコミュニケーション力と人間関係の円滑化を図る新たな取組やスポーツに関する環境整備について問う</p>	<p>(1) 吉本興業(株)と連携して、埼玉県越谷市で実践されている「教育漫才」をモデル的に実施するとのことだが、その事業内容及び期待する効果はどのようなものであるか</p> <p>(2) 新宝緑地運動公園を返還するとのことだが、返還後における土地利用の事業計画について、どのように把握しているか。また、返還することによる市民のメリット及びデメリットはどのようなものであるか</p>	
<p>5 子育てしやすい環境の充実について</p>	<p>1 次世代を担う子どもたちの健やかな成長と、安心して妊娠・出産、子育てできる環境を充実させる取組について問う</p>	<p>(1) 厚生労働省は2020年度から、育児サポーター派遣事業を始めるが、本市における双子や三つ子といった多胎児を育てる家庭を支援する取組はどのようなものであるか</p> <p>(2) 年々多様化する保育ニーズに対応するため、本市では民間事業者の参入を促進しているが、民間保育施設における保育の質の向上について、本市の関わりや支援をどのようにしていく考えか</p> <p>(3) 女性の活躍推進と働き方の多様化が進んでいる中、夜間保育や休日保育のニーズがあるようだが、そうした保育ニーズへの対応について、どのように考えているか</p> <p>(4) 小中学生の健康診断結果をデータ化し、乳幼児の健診情報と一元化し、経年で蓄積することで、生涯にわたる健康の保持増進に効果的に役立てるよう研究するとのことだが、その事業内容及び期待される効果はどのようなものであるか</p>	

<p>6 高齢者の健康・いきがづくりについて</p>	<p>1 高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を送り続けることができるよう、身体機能や認知機能の維持向上を目的とした取組について問う</p>	<p>(1) 後期高齢者の低栄養による虚弱状態を予防するため、栄養士が家庭訪問するとのことだが、虚弱状態のスクリーニング及び支援はどのようにしていくのか  (2) 荒尾町に誘致した民間の健康増進施設の利用料金の一部を助成するとのことだが、その事業内容及び期待される効果はどのようなものであるか</p>	
<p>7 安心・安全なまちづくりについて</p>	<p>1 災害時に避難所となる学校体育館の環境改善及び防犯カメラ設置による犯罪抑止の取組について問う</p>	<p>(1) 災害時に避難所となる学校体育館へのエアコン設置について導入手法等を検討していくとのことだが、その事業内容、モデル校の選定理由及び今後の方向性はどのようなものであるか  (2) 2019年に緑陽小学校区と横須賀小学校区に設置した防犯カメラについて、東海市防犯カメラの設置及び運用に関するガイドラインに沿った画像の利用・提供はあったか。また、設置及び運用における課題と効果はどのようなであったか</p>	

質 問 者	4 村 瀬 晃 代 議 員 (子どもたちに青い空)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 市政運営の基本姿勢と経営方針について	1 市制50周年という記念すべき節目を迎え、5月の「記念式典」や「オープニングイベント」を皮切りに行った記念事業について問う	(1) 記念式典では、市民、企業の顕彰を行ったが、どのような成果が得られたか。また、今後、どのように関わっていく考えか (2) オリジナルカート披露後の活用と効果をどのように分析しているか。また、市民への周知度はどの程度であるか (3) 国内外の姉妹都市交流事業では、具体的にどのような効果が得られたか。また、今後の方向性はどのようか (4) 新規事業のふるさと再生プロジェクトでは、どのような成果が得られたか。今後、どのような進展が考えられているか (5) ひかりプロジェクトの効果はどのようであったか。今後、どのような進展が考えられているか	
2 リニアインパクトによるまちづくりについて	1 リニアインパクトを活かしたまちづくりについて問う	(1) リニア中央新幹線開業により、本市の立地特性及びポテンシャルはどのように高まると考えているか (2) リニア中央新幹線開業を見据え、太田川駅西地区では多様な都市機能が立地するまちづくりの推進とあるが、その内容はいかに (3) 加木屋社山地区に民間事業者による大規模な宅地開発が着手されているが、近隣の横須賀地区から住民が移転し、ますます空洞化して横須賀のまちづくりが停滞してしまうと思われるが、どのように考えているか	

<p>3 産業振興とにぎわいづくりの推進について</p>	<p>1 産業振興とにぎわいづくりについて問う</p>	<p>(1) 観光交流を戦略的に推進するための指針となる「観光ビジョン」の具体的な内容はいかにか  (2) 観光都市としてのめざす将来像はどのようなか  (3) 新たに設置する「観光ビジョン推進委員会」の役割はどのようなか。また、委員の人選はどのように行うのか  (4) 市の「桜」を財産として見守る仕組み「さくらプロジェクト」が立ち上げられているが、中ノ池地区の街路樹の桜をどのように考えているか  (5) 令和元年12月に行われたハーフマラソン大会の課題と対策はいかにか。また、今後どのように発展させていく考えか  (6) 太田川駅前広場の活用は定着してきたが、尾張横須賀駅周辺に立体駐車場を設け、商業地区としてのにぎわいを取り戻すべきと考えるがどうか</p>	
<p>4 子どもが夢と希望を育む環境づくりについて</p>	<p>1 子どもたちの新しい学びについて問う</p>	<p>(1) 令和2年度より、小学校でプログラミング教育が必修化されるにあたり、教員は効果的な指導方策をどのように研究していくのか  (2) 学校間にプログラミング教育に関する指導格差が出ないようにするため、どのような方策を考えているのか  (3) 新しい学びを支える基盤となるICT環境の整備計画はどのようなか。また、それに伴う費用はどれくらいか</p>	

	2 本市の子どもたちへの取組について問う	<p>(1) 本市の不登校生は、いまだ減少の兆しを見せていないが、現状と要因の分析結果はどのようなか。また、スクールソーシャルワーカーを配置する効果及び家庭や学校外の専門機関と連携した仕組みの具体的な内容はいかに</p> <p>(2) 学習支援教室について、南地区のまなぶん横須賀での効果及び実績はどのようなか。また、新たにしあわせ村に学習支援教室を開設することで、どのような効果を期待しているか</p> <p>(3) 埼玉県越谷市で実施されている「教育漫才」の実績をどのように把握しているか。また、本市は、人づくりパートナーシップ協定を結んでいる吉本興業㈱と連携してモデル的に実施することだが、どのような効果を期待しているか</p>	
	3 民間プール活用について問う	<p>(1) 試験的に実施した民間プールを活用した水泳授業について、効果及び課題はどのようなか</p> <p>(2) 水泳授業について、未実施の学校との指導格差をどのように埋めていく考えか</p>	
5 子育てしやすい環境の充実について	1 次世代の子どもたちが健やかに育つ社会の実現に向けた環境整備について問う	<p>(1) 子ども医療助成事業について、過去3年間の実績はどのようなか</p> <p>(2) 本市の大学生までの入院費用の助成を取りやめ、高校生までの通院医療費無償化を実施してはどうか</p> <p>(3) 出産環境を整えるため、公立西知多総合病院に対し、産科を早急に整備するよう求めるべきと考えるがどうか</p>	
	2 本市の保育の取組について問う	<p>(1) 多様化する保育ニーズに柔軟に対応するために専門組織を設置し、民間事業者の参入促進及び連携体制の強化を図ることについて、その内容はいかに</p> <p>(2) 民間事業者が増えたことで、待機児童解消に効果を上げている一方で、希望しても公立保育園に入れられないという保護者の声があるが、どのように考えているか</p>	

<p>6 高齢者の健康・いきがづくりについて</p>	<p>1 高齢者の健康づくり・いきがづくりについて問う</p>	<p>(1) 地域で展開する身体機能や認知機能の維持向上を目的とした事業の具体的な内容はいかに  (2) 過去5年間の特定健康診査の受診率及び受診状況はどのようなか。また、受診率が低いことについて、原因の分析と対策はどのようなか  (3) 若年層への健康診査や歯周病検診の機会の提供の具体的な内容はいかに  (4) 市民大学「平成嚶鳴館」やシルバー人材センター、シニアクラブ等の団体と連携し、学びや活躍の場をどのように提供するのか  (5) 「いきいき元気推進事業」を展開することで、どのような成果が得られたか。また、課題は何か</p>	
<p>7 安心・安全なまちづくりについて</p>	<p>1 安心・安全なまちづくりについて問う</p>	<p>(1) 「地域強靱化計画」の具体的な内容はいかに  (2) 潜在看護職の登録者のうち委嘱した方は市内に何名いるか。また、災害支援研修に参加していない潜在看護職の登録者は何名いるか  (3) 緑陽小学校区及び横須賀小学校区に防犯カメラを設置したことによる効果について、具体的な内容はいかに</p>	

質 問 者	5 坂 ゆかり 議 員 (日本共産党議員団)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 市政運営の基本姿勢について	1 本市の主要企業のひとつである日本製鉄㈱において、名古屋製鉄所を含めた大規模な合理化策が発表されているが、本市への影響について問う	(1) 日本製鉄㈱名古屋製鉄所における合理化策により、本市の税収及び雇用等への影響をどのように考えているか。また、その影響に対し、どのように市は対応していくのか	
	2 持続可能でよりよい世界を目指す国際目標であるSDG sによる価値観の転換により、独自性や多様性、新しいものを生み出す創造力が強く求められると述べているが、本市の取組について問う	(1) 本市の施策にSDG sの考え方をどのように反映していくのか	
2 リニアインパクトによるまちづくりについて	1 太田川駅西地区におけるまちづくりについて問う	(1) 太田川駅西地区において、広域的な交通ポテンシャルを活かした新たな産業拠点や居住環境を形成し、多様な都市機能が立地するまちづくりの推進を図ると述べているが、具体的な計画についてはどうか (2) 太田川駅西地区の居住環境は、降下ばいじん被害に加え、防災面においても脆弱な地域と考えるが、市の見解はどうか	
	2 近年の日本各地で発生している豪雨災害等から、加木屋中部地区におけるまちづくりの課題について問う	(1) コンパクトなまちの実現を目指すと述べているが、豪雨災害等の発生時に、居住者に大きな被害が懸念されるため、グラウンドや公園等を整備し、雨水対策を計画してはどうか	
3 産業振興とにぎわいづくりの推進について	1 ホテルの誘致及びホテル事業者と連携した情報発信における観光振興への取組について問う	(1) ホテルを誘致したことによる、観光振興への効果をどのように考えているか (2) 市内ホテル事業者と連携した情報発信を展開すると述べているが、どのような内容及び方法で行っていくのか。また、これまでのホテル事業者と連携した情報発信はどうか	

<p>4 子どもが夢と希望を育む環境づくりについて</p>	<p>1 近年、不登校の背景となる子どもの課題は複雑化・多様化しており、子どもの心のケアだけでなく、子どもを取り巻く環境にも注目して問題解決に取り組むと述べているため、問題解決に向けた市の取組について問う</p>	<p>(1) 不登校対策として配置予定のスクールソーシャルワーカー等の活動内容はどのようなか (2) スクールソーシャルワーカーの配置以外の不登校対策として、子ども一人ひとりに目を向け、深く理解していくためにも少人数学級は欠かせないと考えるが、小中学校の全学年で35人学級を実施する考えはあるか</p>	
	<p>2 未来へのまちづくりに向けて、横須賀地区のシンボリックな建築物となりうると述べている、文化センターのリニューアルについて問う</p>	<p>(1) 文化センターのリニューアルにおいて、どのようなシンボリックな建築物を考えているか</p>	
<p>5 子育てしやすい環境の充実について</p>	<p>1 安心して子どもを産み、育てる喜びを実感できる社会の実現が重要であると考え、安心して妊娠、出産、子育てできる環境を整えたと述べているが、そのための施策について問う</p>	<p>(1) 市内に産科病院や助産所が一つもない現状が続いているが、公立西知多総合病院において出産ができる見通しをどのように把握しているか。また、埼玉県鶴ヶ島市をはじめ数市では産婦人科を誘致するための優遇策を導入しており、本市でも検討すべきではないか (2) 保護者の経済的負担の軽減を図るため、大学生まで拡充して入院費用を助成するが、18歳まで通院費も無償化すべきではないか</p>	
<p>6 高齢者の健康・いきがづくりについて</p>	<p>1 長寿社会が到来しようとする中で、心身が健康で、学習やスポーツ、文化活動、コミュニティ活動等に積極的に参加し、長い人生をより充実するための方策について問う</p>	<p>(1) 高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を送り続けることができるよう、外出促進策の更なる充実が必要と考えるがどうか (2) 後期高齢者に対する、低栄養による虚弱状態の予防のための栄養士による家庭訪問の実施方法はどのようなか</p>	
<p>7 安心・安全なまちづくりについて</p>	<p>1 大規模災害の危機を直視し、平時から災害に対する意識や備えを行うことが重要であると述べているが、市の取組について問う</p>	<p>(1) 市は、専門家としての知見を市民にわかりやすく伝える責任がある。そこで、市民一人ひとりが防災意識を高め、今できる備えを行うために、市として様々な行事等の機会を通して、啓発・周知していくべきと考えるがどうか</p>	